

2021年3月期 中間期 決算説明会資料

2020年12月11日

代表取締役会長兼社長
坂本 隆司



証券コード：4461（東証1部）
第一工業製薬株式会社

本日のアジェンダ



- 1. 2021年3月期 中間期 連結決算のご説明** **P.3**
- 2. 2021年3月期 中間期 業績見込みについて** **P.15**
- 3. D K S の価値創造** **P.25**

1. 2021年3月期 中間期 連結決算のご説明

連結 業績の概要（前年同期比較）



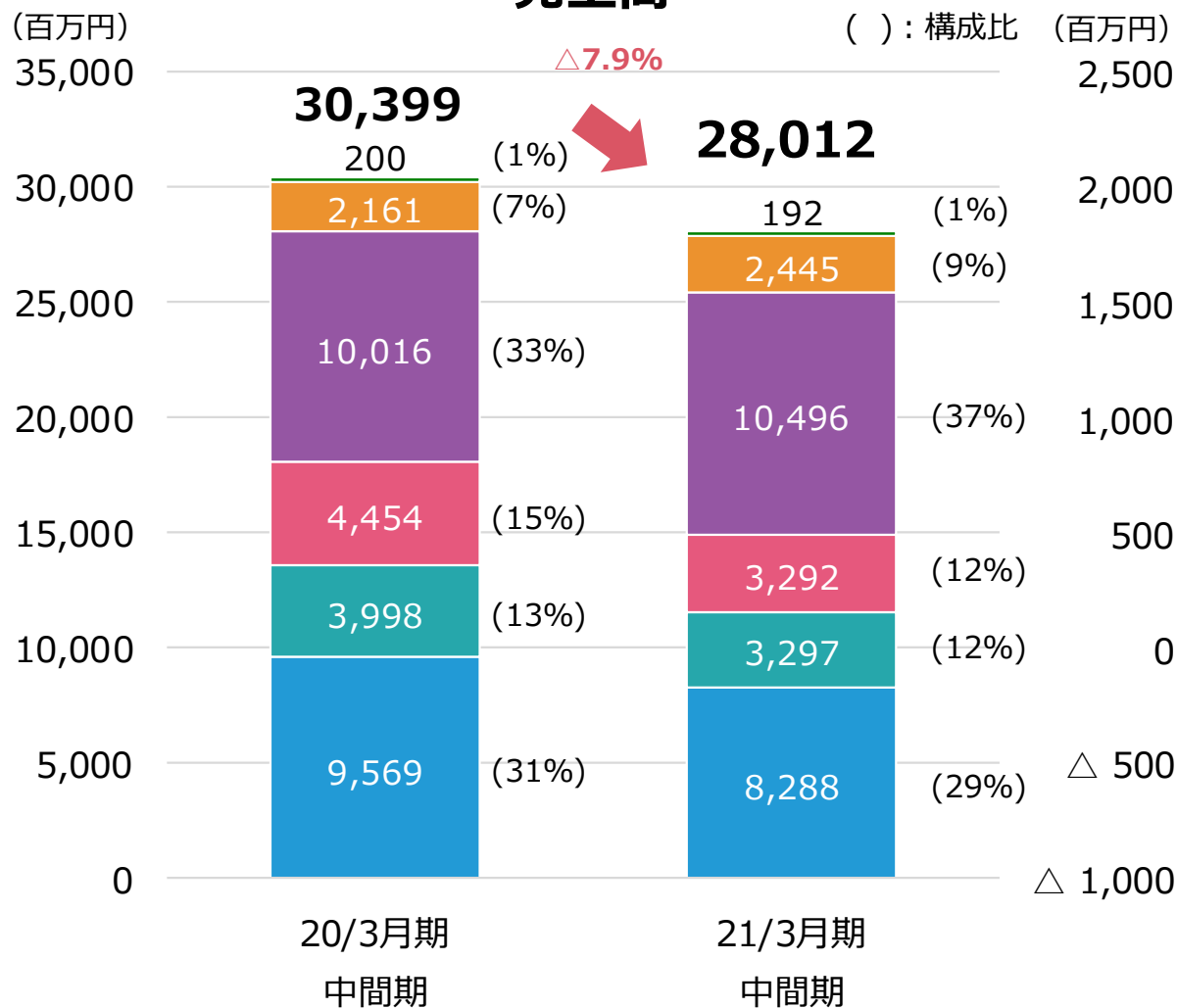
減収増益：機能材料、電子デバイスセグメントの伸長、自動車関連分野は需要激減

単位：百万円	20/3月期 中間期	21/3月期 中間期	前年同期比増減	
			金額	増減率
売上高	30,399	28,012	△ 2,387	△ 7.9%
営業利益	1,590	1,777	187	11.7%
経常利益	1,545	1,662	117	7.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	930	1,014	84	9.1%

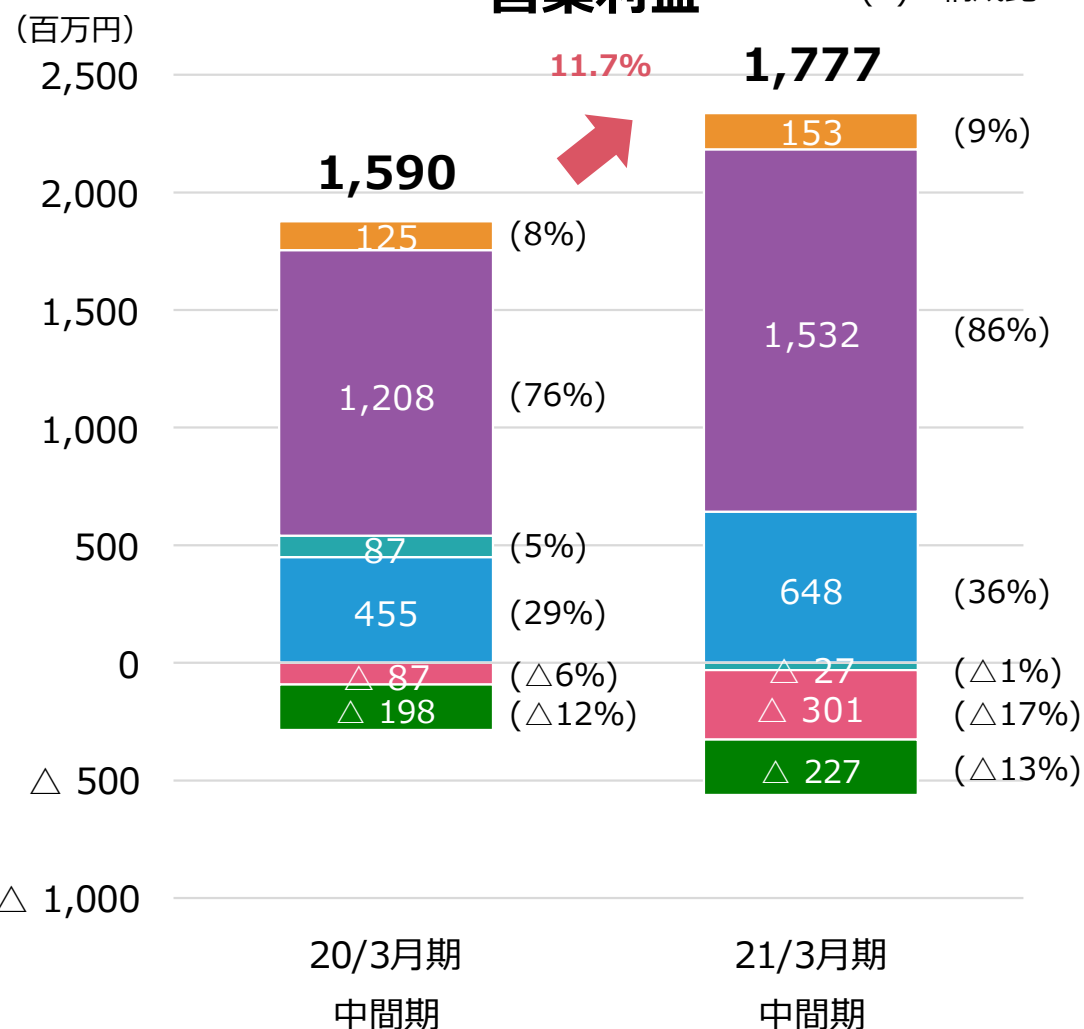
減収  **売上高**：新型コロナウイルスの影響による自動車関連分野が低迷

増益  **営業利益**：機能材料セグメントのIT・電子用途が利益貢献
営業努力による価格是正、移動制限による営業経費減少

売上高



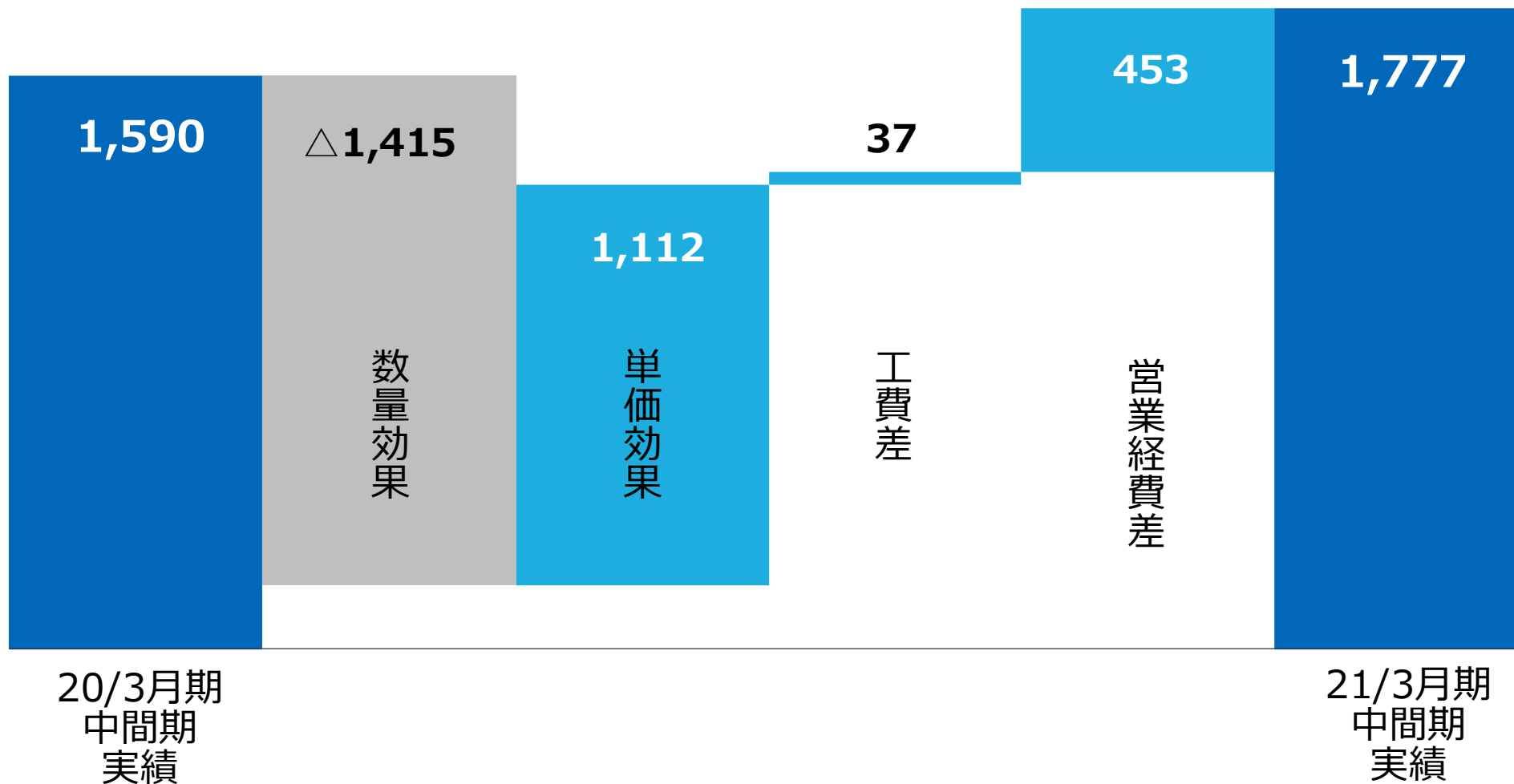
営業利益



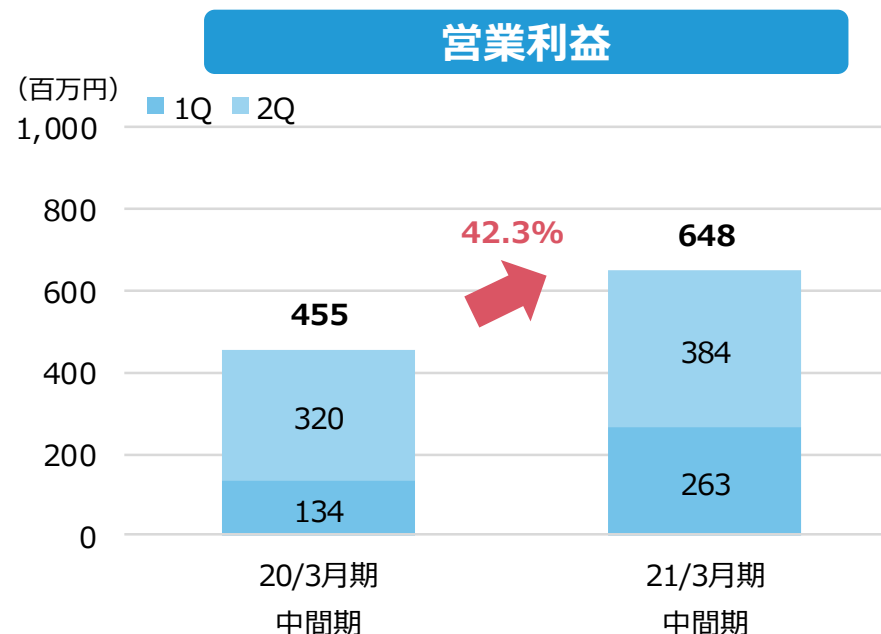
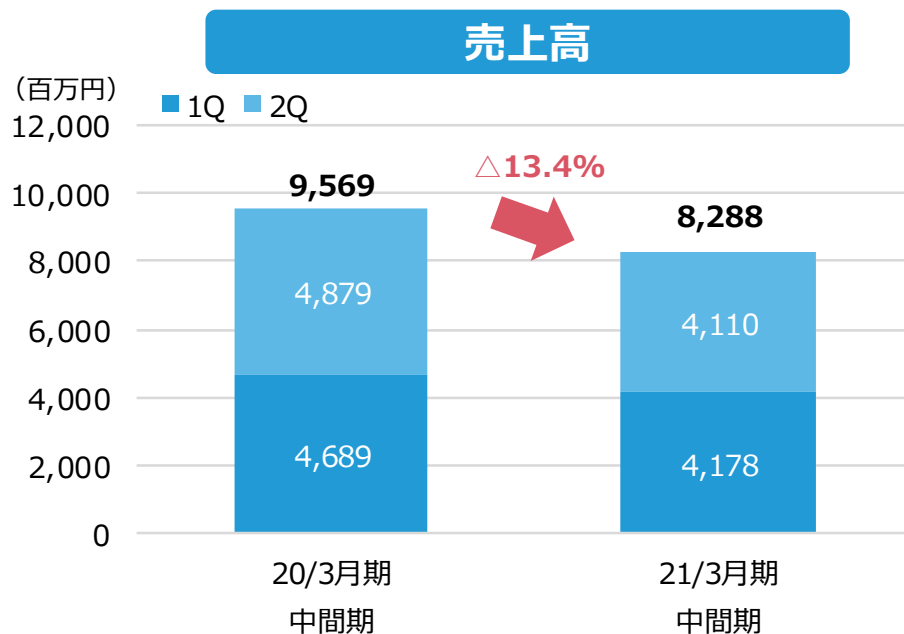
■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

- * 界面活性剤およびウレタン材料セグメントの販売数量減
- * 高収益製品の伸長
- * 採算是正活動による貢献
- * 光硬化樹脂の暫定的生産体制解消によるコスト削減
- * 第3P減価償却費増
- * 連結子会社の経費増
- * 活動自粛による営業経費減少

(百万円)



1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。



売上高：総じて大きく落ち込む

- 機械・金属、IT・電子用途は低調に推移
- 石鹼・洗剤、ゴム・プラスチック用途は大きく落ち込む
- コロナ禍によるホテルリネン市場稼働率低下

営業利益：増益

- 販売価格の是正
- 活動自粛による営業経費減少

IT・電子材料用途



石けん・洗剤用途



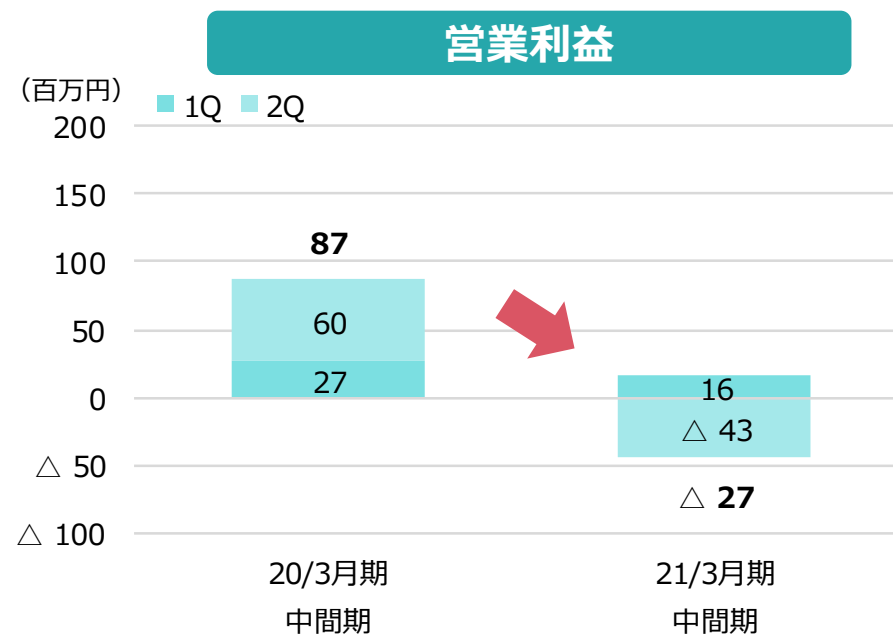
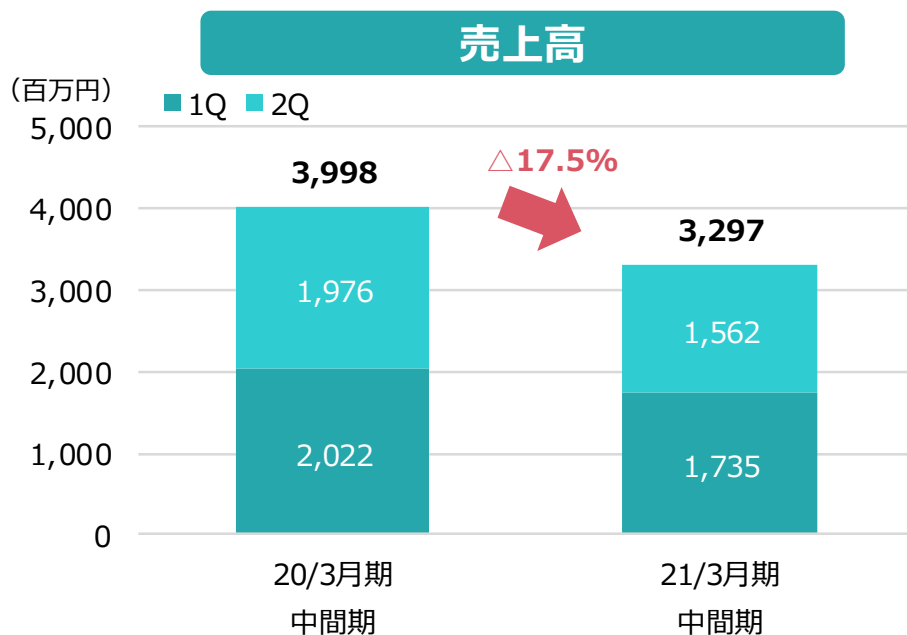
塗料・色材



連結 セグメント業績 アメニティ材料



生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。



売上高：総じて大きく落ち込む

- ショ糖脂肪酸エステルは食品用途、香粧品用途共に低調に推移
- セロース系高分子材料はエネルギー・環境用途、医薬品用途が低調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高が大幅に減少

香粧品用途

☁️ 低調に推移



食品用途

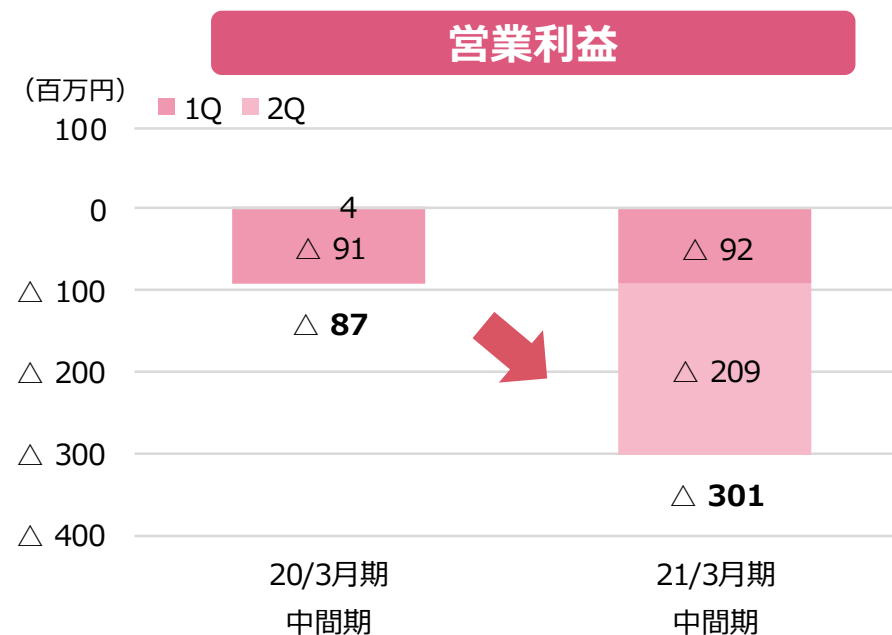
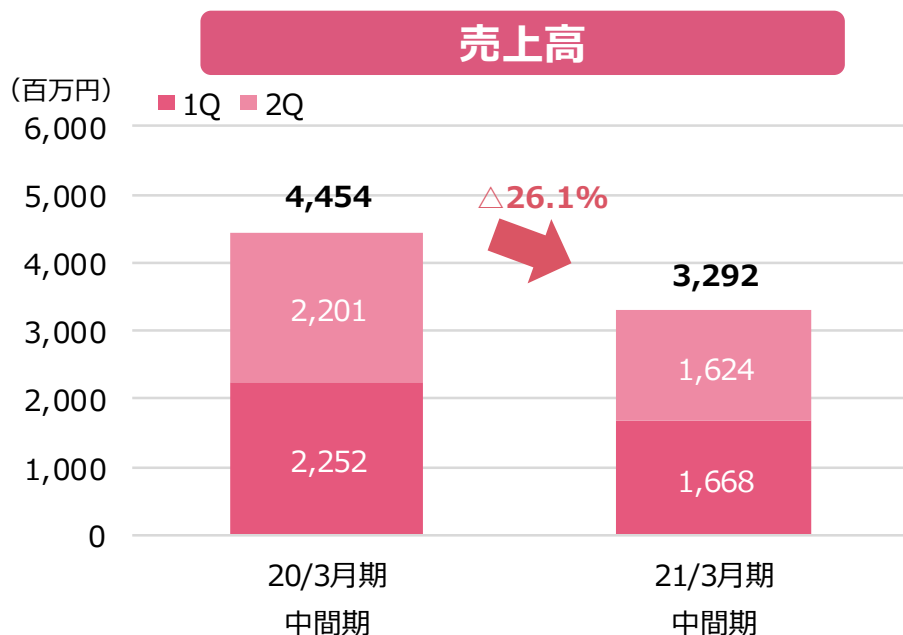
☁️ 低調に推移



連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



売上高：総じて大きく落ち込む

- IT・電子用途は堅調に推移
- 建築用途、土木用薬剤は低調に推移
- 自動車関連分野の低迷による合成潤滑油の落ち込み

営業利益：営業損失

- 合成潤滑油の売上高が大幅に減少
- 工場の低操業などによる固定費の負担増が利益を圧迫

IT・電子材料用途



土木用薬剤:岩盤固結



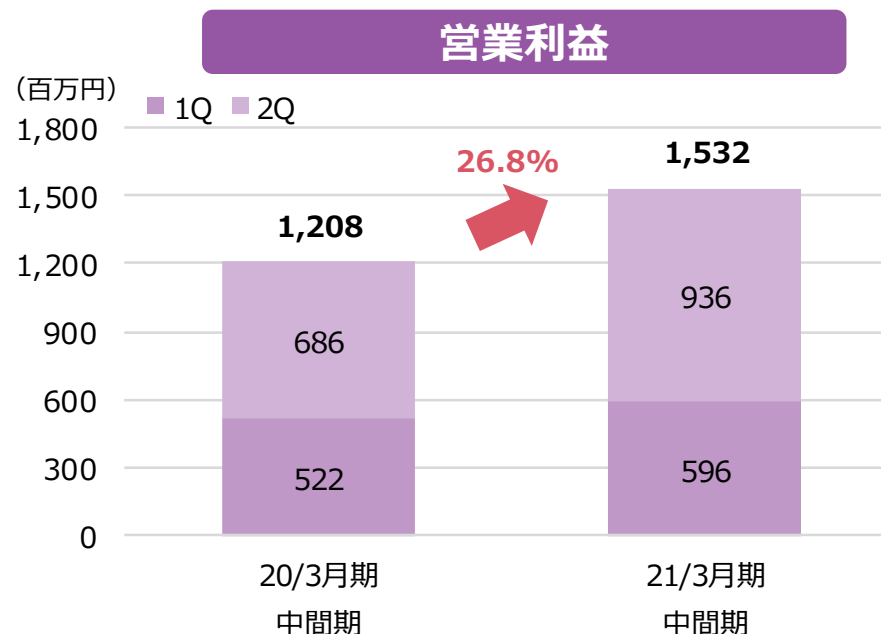
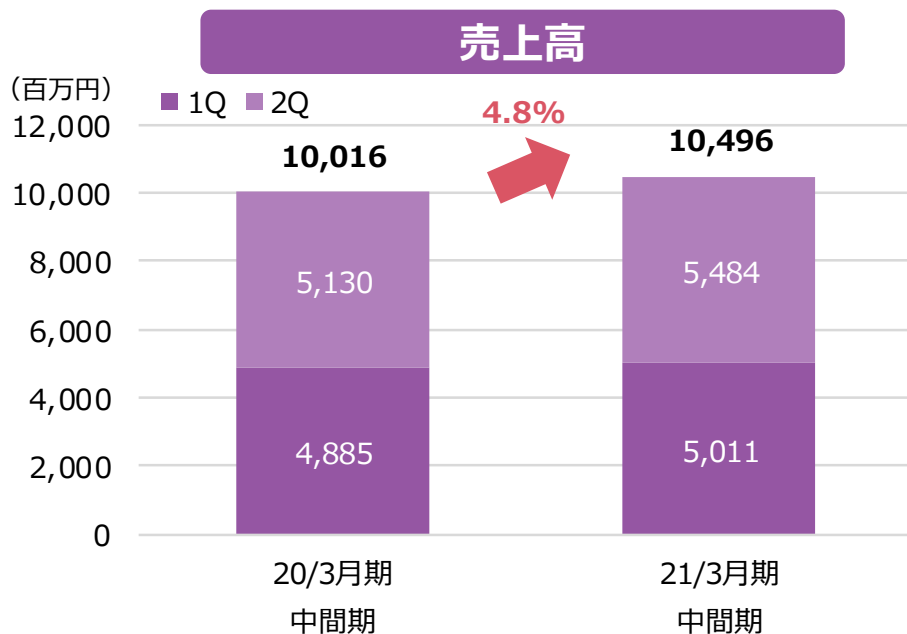
合成潤滑油



連結 セグメント業績 機能材料



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途は国内外とも大幅に伸長
- 難燃剤は国内が低調に推移、海外は大きく落ち込む

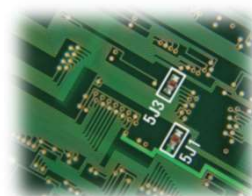
営業利益：増益

- IT・電子材料用途の売上高が大幅に伸長

電子材料用途



大幅に伸長



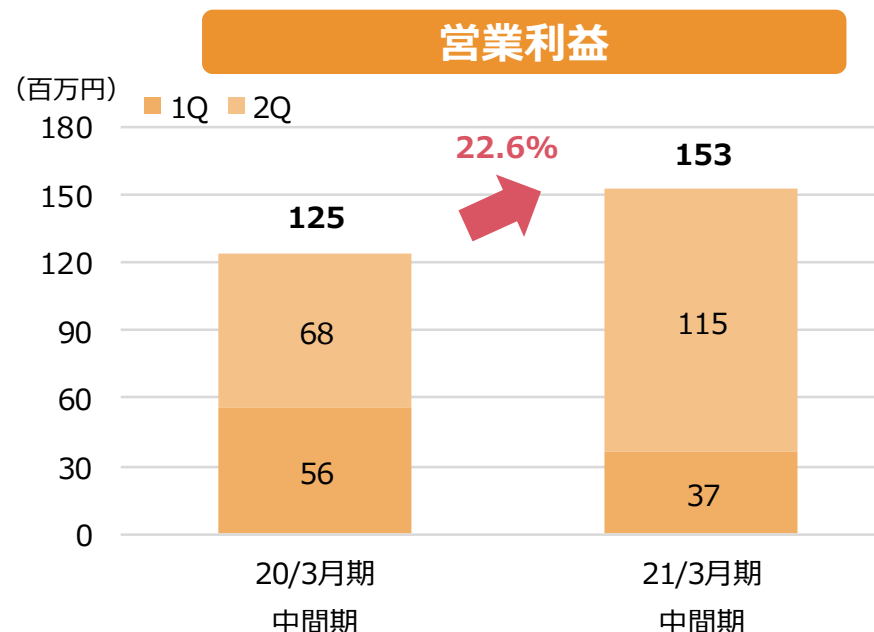
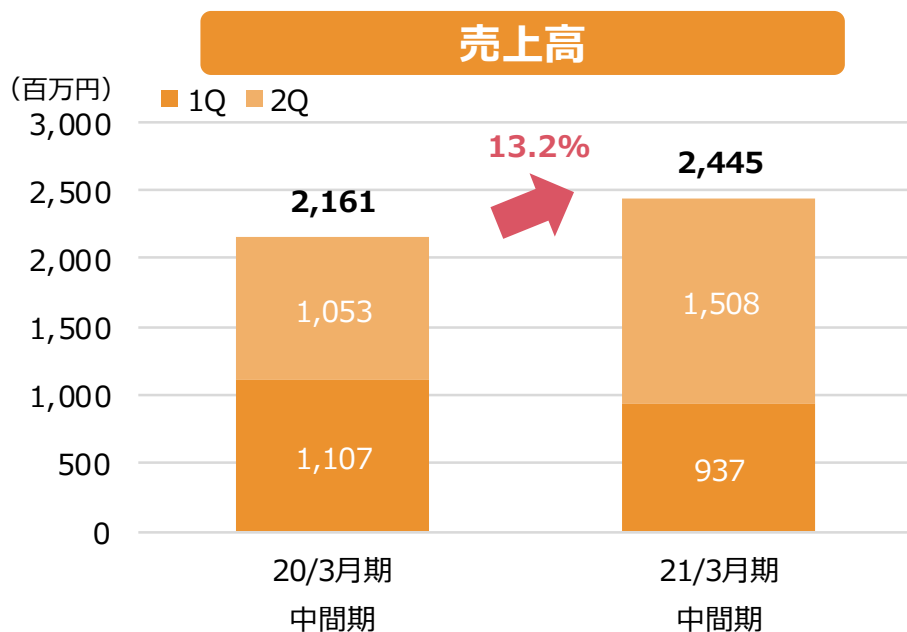
プラスチック用難燃剤



大きく落ち込む



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



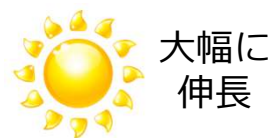
売上高：総じて大幅に伸長

- 太陽電池用途の導電性ペーストは大幅に伸長
- ディスプレイ用途のイオン液体が堅調に推移

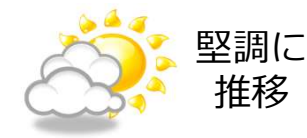
営業利益：増益

- 売上高の大幅な伸長

太陽電池用途



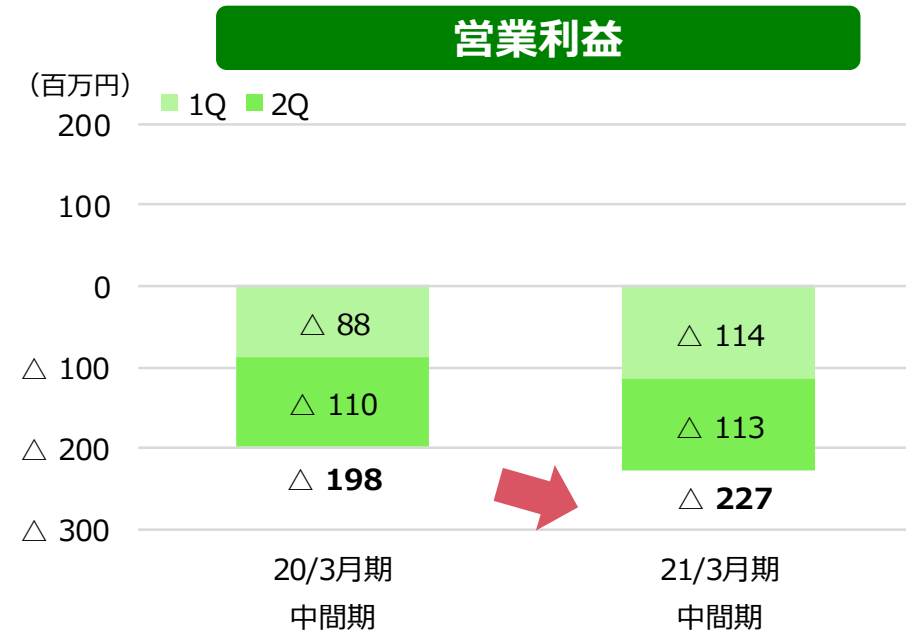
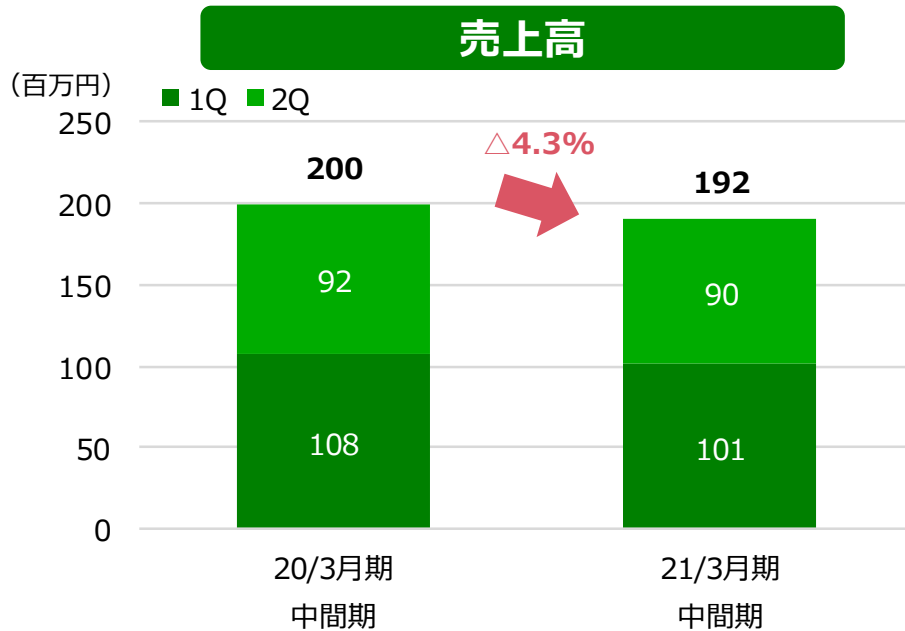
ディスプレイ用途



連結 セグメント業績 ライフサイエンス



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



売上高：低調に推移

- 健康食品等の受託事業は低調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高の低調、営業経費の負担が利益を圧迫

冬虫夏草



健康食品等の受託事業



四日市工場霞地区の“いま” 新プラント商業生産を開始

2015年に生産・販売・開発機能の一体化を目指し、三重県四日市市霞地区にマザー工場を稼働しました。

2020年6月には、機能材料製品を製造する新プラントが完成し、同年9月に商業生産を開始しています。



四日市工場霞地区

※設備をリース資産に計上しています

「SNEC2020 PV POWER EXPO」に 京都エレックスが出展

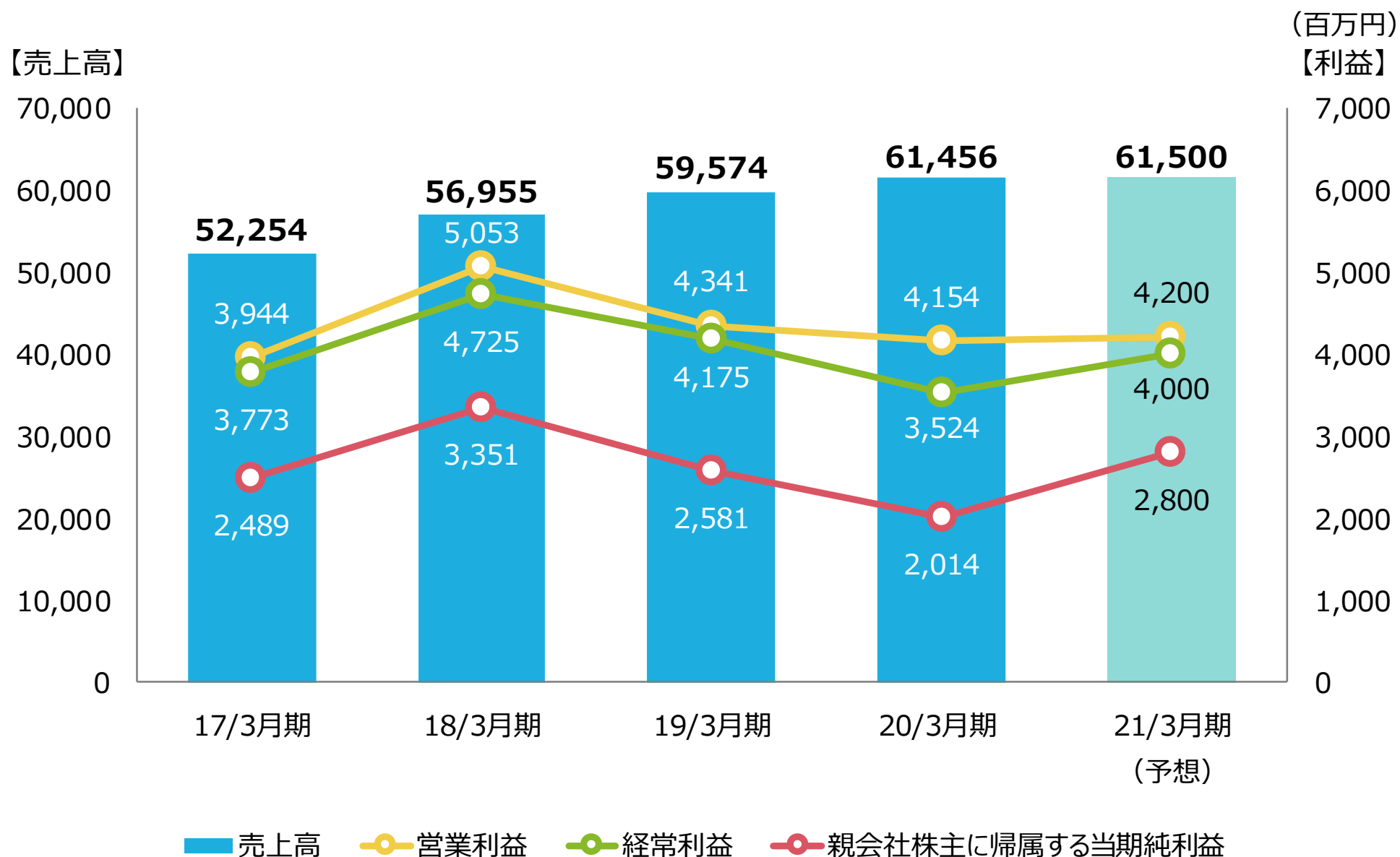
中国上海市で開催された「SNEC2020 PV POWER EXPO」に導電性ペーストを出展しました。また、日本からのリモートでお客さまからの技術相談に対応しました。



2020 8.7～10 上海新国際博覧中心にて

京都エレックス：電子部品向けや太陽電池向けなどの、各種の高性能導電性ペーストを開発、製造する関係会社。

2. 2021年3月期 中間期 業績見込みについて



連結 売上高615億円、営業利益42億円達成のために

増益要素

1. 中期経営計画「FELIZ 115」の重点施策の遂行
 - ➡採算是正、撤退を含めたポートフォリオの見直し
 - ➡アクチャル事業の利益構造改革
2. インスパイアード・パートナーとの取り組み促進
3. 霞第4プラント稼働による増産対応

減益要素

1. 新型コロナウイルスの影響による需要減少
2. ライフサイエンス関連などの研究開発費（将来への投資）
3. 霞第3、4プラントの減価償却費増加

連結 セグメント別売上高予想



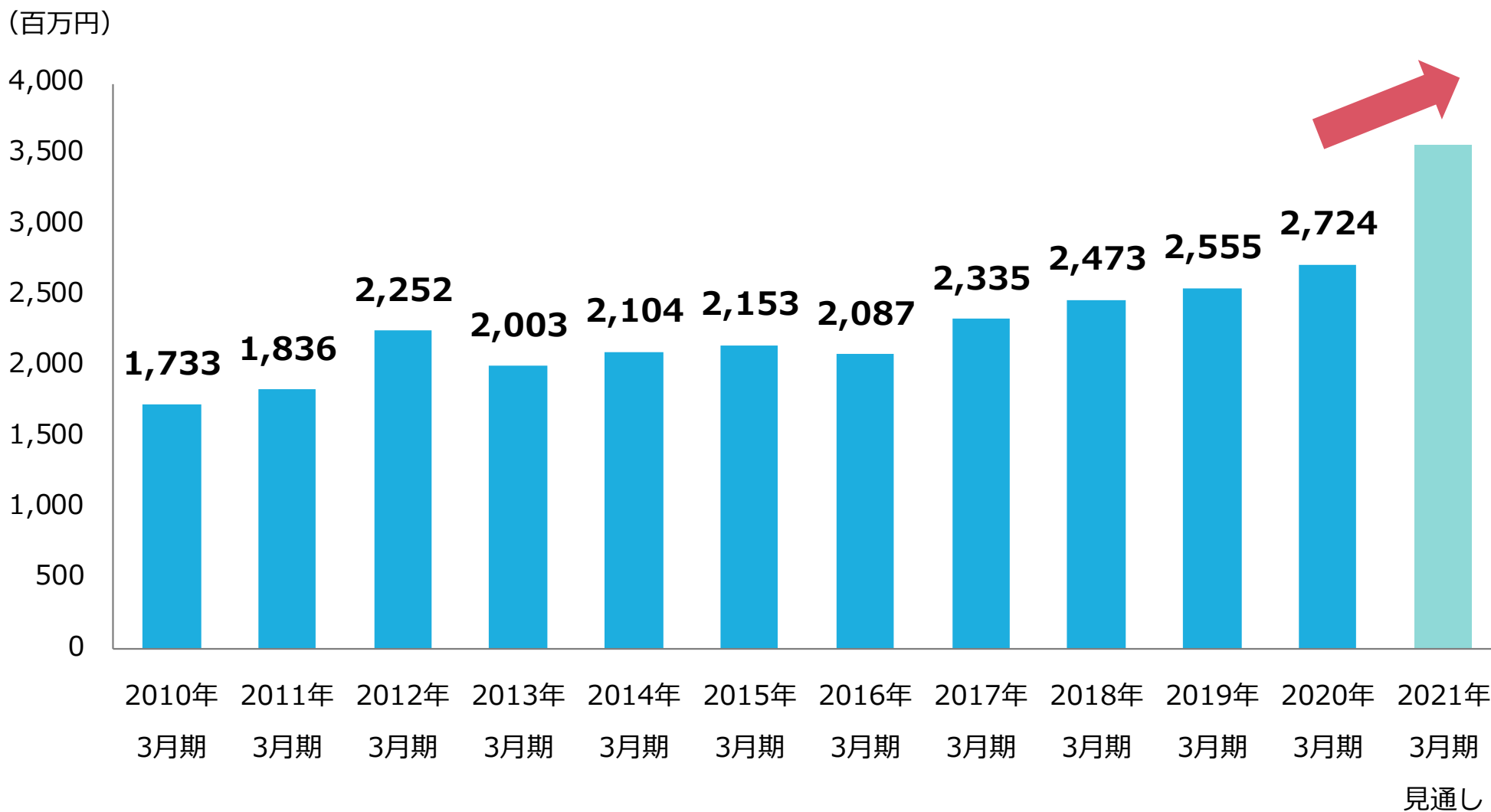
セグメント 単位：百万円	2020年3月期（実績）				2021年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期	通期	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
界面活性剤	9,569	9,401	18,970	30	8,288	9,166	17,454	28	△ 1,516	△ 8
アメニティ材料	3,998	3,996	7,994	13	3,297	3,994	7,291	12	△ 703	△ 9
ウレタン材料	4,454	4,015	8,470	14	3,292	4,507	7,799	13	△ 671	△ 8
機能材料	10,016	10,832	20,848	34	10,496	12,600	23,096	37	2,248	11
電子デバイス材料	2,161	2,583	4,744	8	2,445	3,000	5,445	9	701	15
ライフサイエンス	200	227	427	1	192	223	415	1	△ 12	△ 3
合計	30,399	31,056	61,456	100	28,012	33,488	61,500	100	44	0

連結 セグメント別営業利益予想

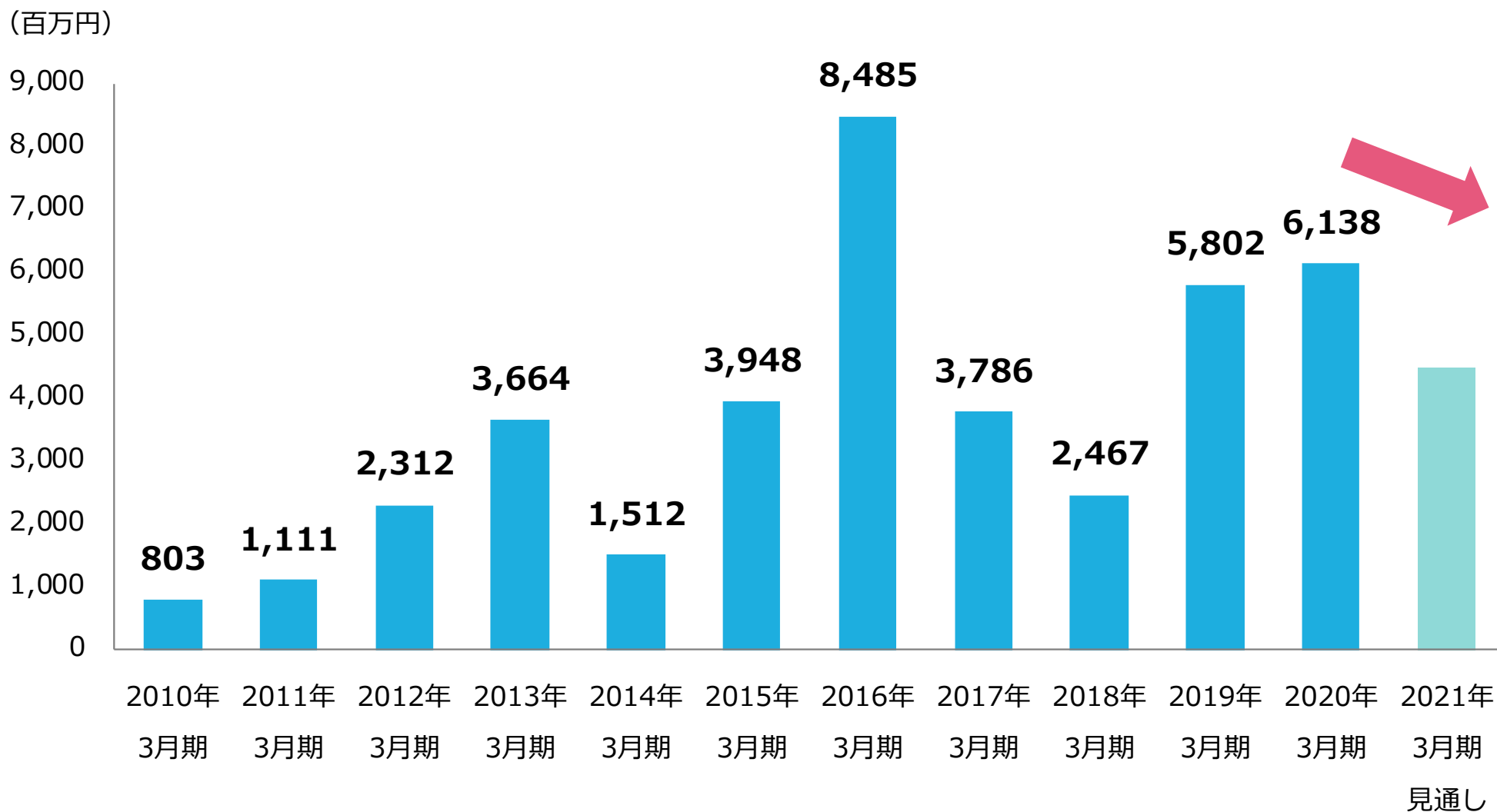


セグメント 単位：百万円	2020年3月期（実績）				2021年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期	通期	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
界面活性剤	455	856	1,312	32	648	849	1,497	36	185	14
アメニティ材料	87	194	281	7	△ 27	38	11	0	△ 270	△ 96
ウレタン材料	△ 87	△ 148	△ 235	△ 6	△ 301	△ 120	△ 421	△ 10	△ 186	79
機能材料	1,208	1,623	2,832	68	1,532	1,720	3,252	77	420	15
電子デバイス材料	125	210	335	8	153	185	338	8	3	1
ライフサイエンス	△ 198	△ 172	△ 370	△ 9	△ 227	△ 250	△ 477	△ 11	△ 107	29
合計	1,590	2,563	4,154	100	1,777	2,423	4,200	100	46	1

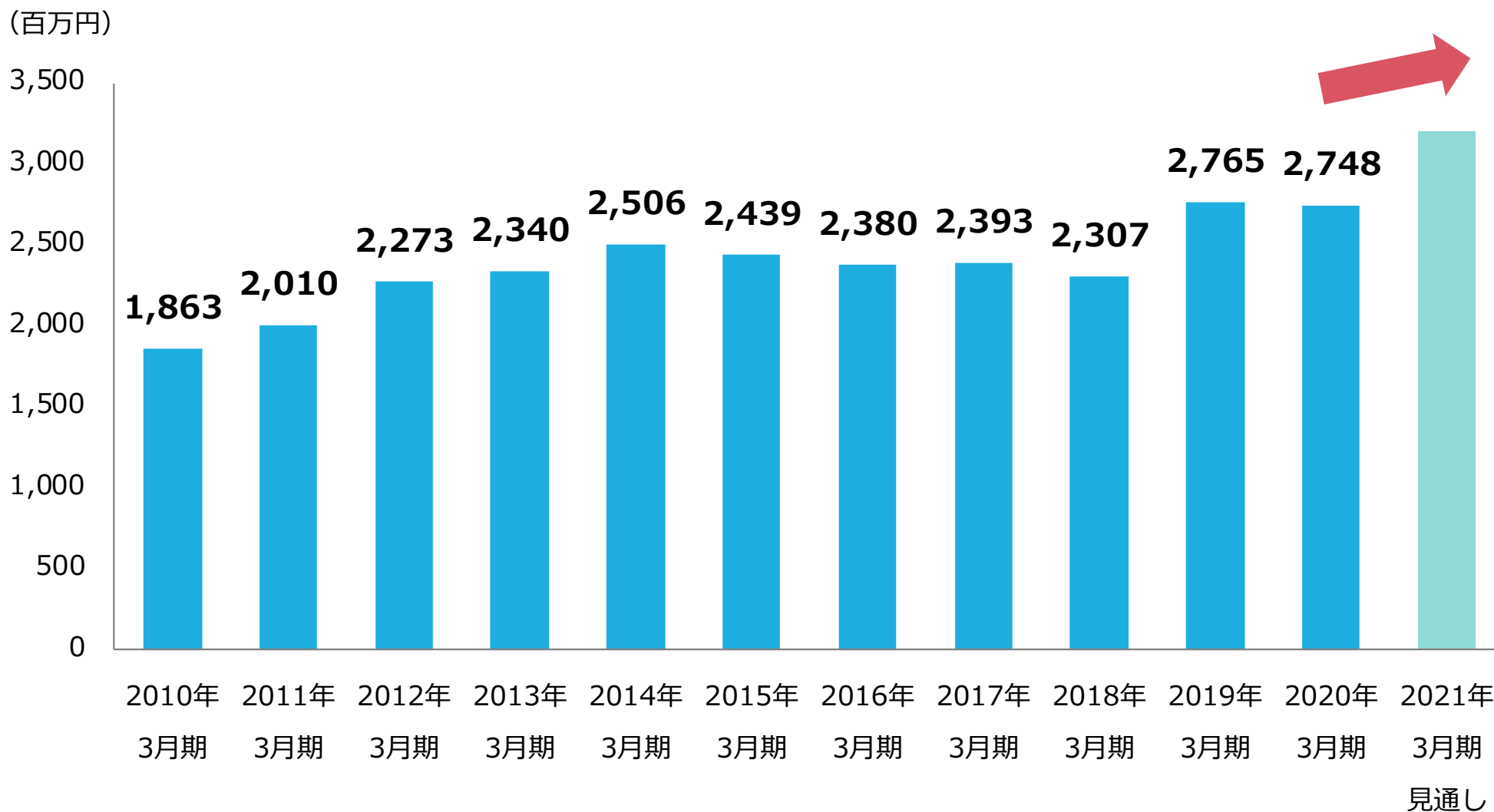
連結 減価償却費の推移



連結 設備投資額の推移



連結 研究開発費の推移



連結 連結比較貸借対照表の概要



単位：百万円	2020年 3月末	2020年 9月末	増減額		2020年 3月末	2020年 9月末	増減額
流動資産	42,595	42,029	△ 566	負債	47,470	47,917	447
現預金	10,336	9,974	△ 362	仕入債務	11,386	9,764	△ 1,622
売上債権	17,422	16,243	△ 1,179	有利子負債	30,711	31,767	1,056
たな卸資産	12,433	13,378	945	その他	5,373	6,385	1,012
その他	2,402	2,432	30	純資産	34,265	35,774	1,509
固定資産	39,141	41,662	2,521	株主資本	31,977	32,664	687
有形固定資産	33,274	34,643	1,369	その他の包括利益累計額	△ 299	383	682
無形固定資産	1,130	1,035	△ 95	非支配株主持分	2,587	2,726	139
投資・その他の資産	4,737	5,982	1,245				
合計	81,736	83,691	1,955	合計	81,736	83,691	1,955

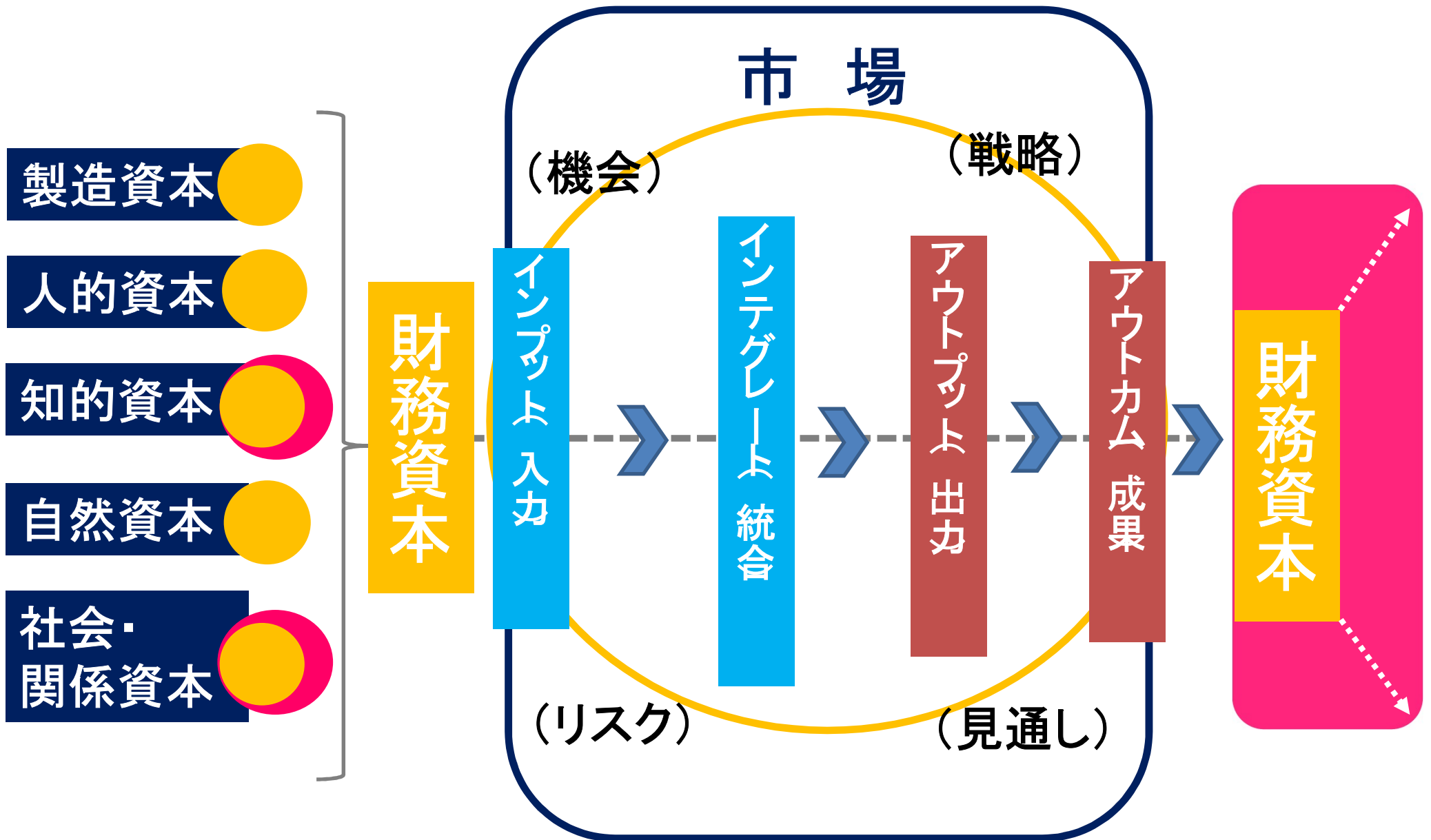
連結 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



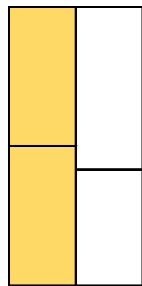
単位：百万円	20/3月期 中間期	21/3月期 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,946	1,543	△ 403
投資活動におけるキャッシュ・フロー	△ 3,113	△ 2,090	1,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,058	350	△ 4,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 60	△ 11	49
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	3,831	△ 207	△ 4,038
現金及び現金同等物の期末残高	11,110	9,919	△ 1,191

3. DKSの価値創造

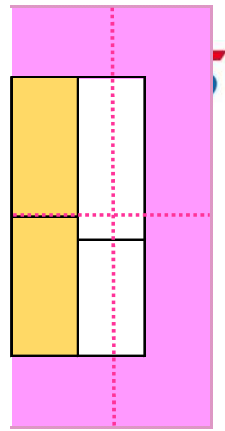
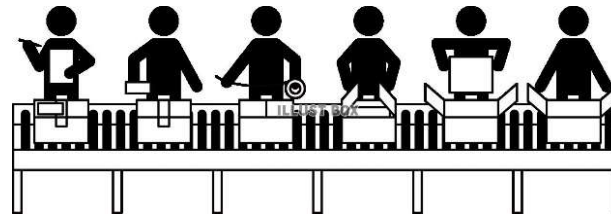
① DKSの価値創造プロセス



② 価値創造のプロセス



財務資本

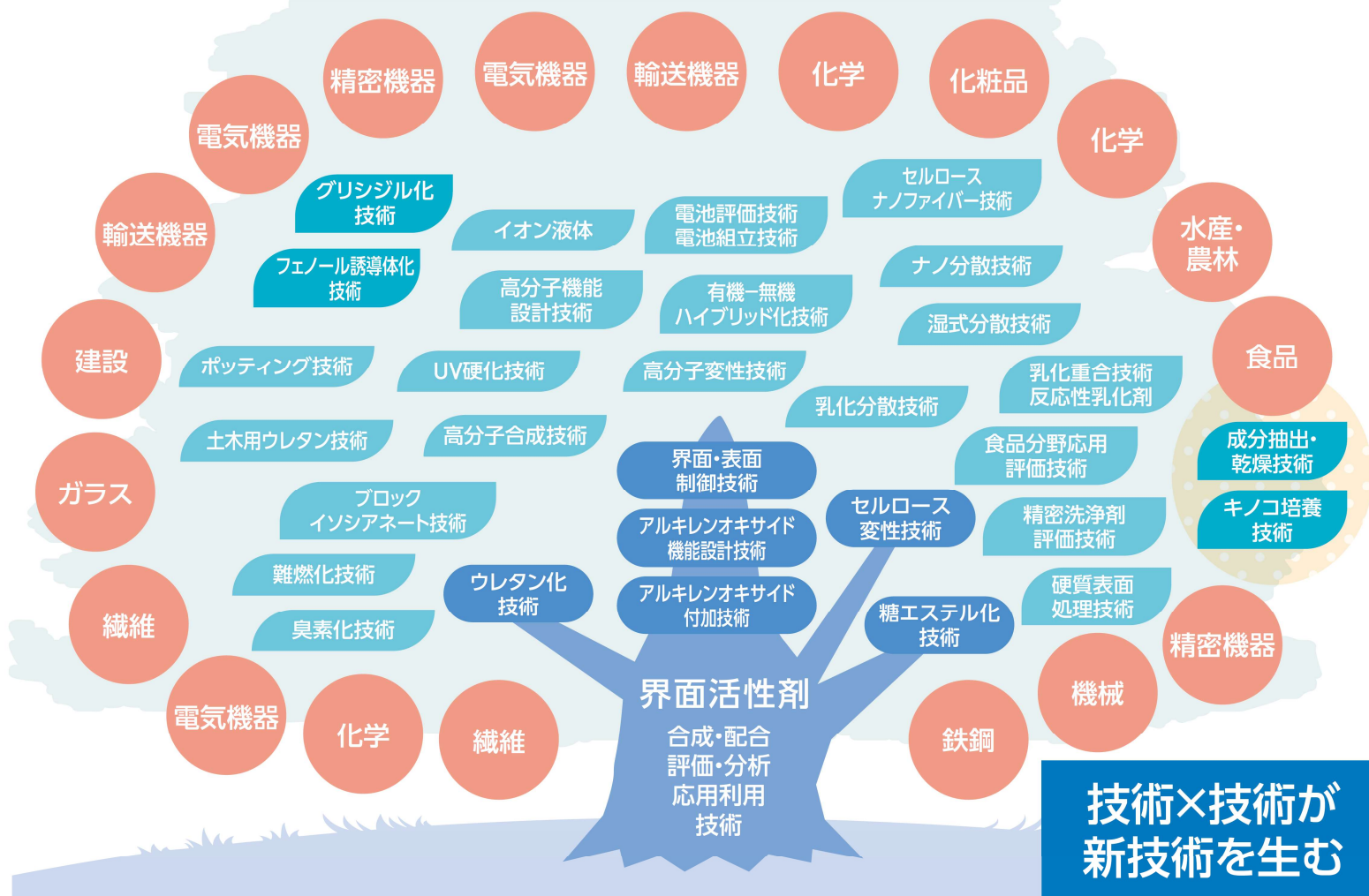


資本 \ プロセス	インプット (input)	→	インテグレート (integrate)	→	アウトプット (output)	→	アウトカム (outcome)
製造	原価		管理会計		生産性		12 つくる責任 つかう責任
知的	保有技術		新規事業		独自性		9 産業と技術革新の 基盤をつくらう
人的	コンピテンシー		マネジメント		効率性		3 すべての人に 健康と福祉を
自然	バイオ資源		地方創生		安定性		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
社会・関係	インスパイアード・ パートナー		ビジネスモデル		成長性		17 パートナリシップで 目標を達成しよう

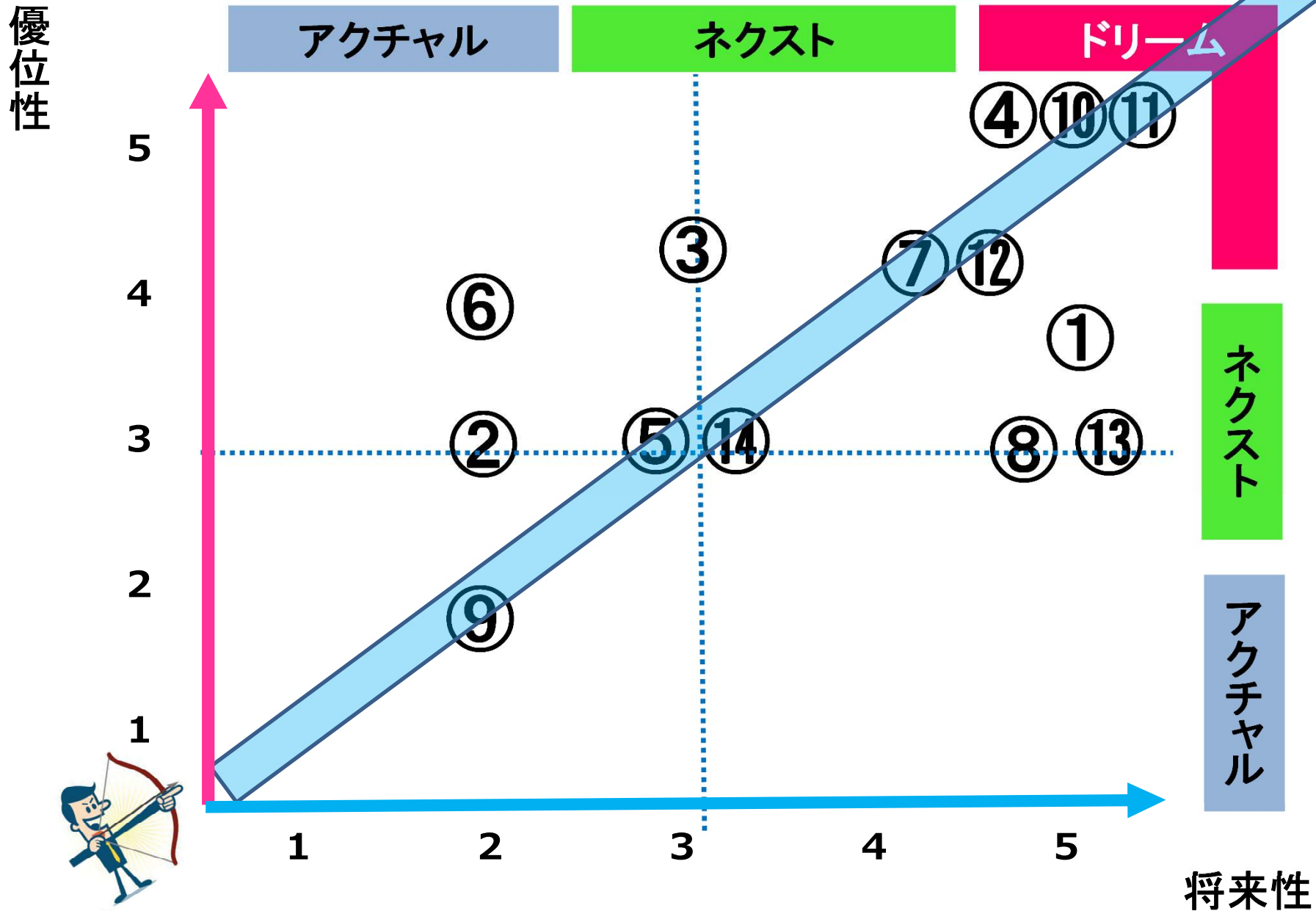
③ DKSの技術ツリー (保有技術)

DKSの保有技術

テクニカルロードマップ[保有技術]



④ どんと晴れマップ



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

管理本部 経営戦略部 広報 I R 株式グループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp